

3月2日 年間第 8 主日

仕えるべきもの

マタイによる福音書 6 章 24～34 節

²⁴「だれも、二人の主人に仕えることはできない。一方を憎んで他方を愛するか、一方に親しんで他方を軽んじるか、どちらかである。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」

²⁵「だから、言うておく。自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。²⁶空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。²⁷あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。²⁸なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。²⁹しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。³⁰今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。³¹だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。³²それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。³³何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。³⁴だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」

他の朗読：イザヤ 49:14, 15 詩編 62:2, 3, 6～9 I コリント 4:1～5

Lectio …読む

イエスは今日の箇所の中で「あなたが何に思い悩んでいるかを言うなら、私はあなたが誰に仕えているかを教えよう」と言っているように思われます。別の言い方をすれば、もしあなたが毎日の心配ごとにもあまりにも思い悩んでいるなら、あなたはそれらに支配されているということです。

イエスは私たちが選択すべき内容をはっきりと示しています。私たちは神に仕えることもできますし、またお金や毎日の心配事にも仕えることができます。しかし両方に仕えることはできません。もし神（この世で本当に重要である唯一の主人）への信仰によって私たちが導かれるならば、毎日の心配事は力を失います。

イエスはまた私たちに神の本質について思い出させてくれます。神は創造主であり命の維持者です。あるときここにあり、やがてはなくなってしまう美しい花も神が創造しました。空の鳥を養ってくださいます。もし神が鳥や植物の面倒を見てくださるのなら、ご自分にかたどって創造した人間について、どんなに面倒を見てくださることでしょうか。

イエスは、私たちに教えてくれた祈り（マタイ 6 章 9～15 節）の最初の言葉「天におられるあなたの父」を繰り返して呼んでいます。この言葉は 2 つの非常に力のある考えを結びつけるものです。1 つは神との関係は父と子のようなものとして招かれているということ、もう 1 つはこの世の父たちとは異なり、私たちの霊的な父は天におられ、完全で、力強い方だということです。

神は、人間として食べ物、飲み物、そして衣服が私たちに必要であると十分に理解しています。聖書はまた、私たちは自分自身を養うべきであり、自分自身を養えない人々の面倒を見るべきだと教えています。

どこかで飢えている人々がいるということについて、神が間違っただけではありません。世界にはすべての人々に十分な食料があります。しかし人の欲と利己主義のために、食料が公平に分配されていないのです。これは神の摂理に反する罪です。

Meditatio …黙想する

今日の福音朗読をもう一度読んでみましょう。ただし、イエスがあなたに直接話しかけていると想像するのです。イエスが言っていることがあなたの感じ方に影響を与えますか。それはどんな風にでしょうか。あなたは何をする必要があるのでしょうか。

実際的な言葉で神が私たちに要求していることを、私たちはどうやって知ることができるでしょうか。そして私たちはどのように自分の優先順位を正しますか。

Oratio …祈る

詩編 62 編を読んで、あなた自身の祈りの基盤として使ってみましょう。

あなたの人生で、神がどのような様々な方法であなたを養ってくれているかについて考えてみましょう。そして神に感謝をささげましょう。あなたが持っているどんな心配事でも、正直に神の前に差し出してみましょう。

Contemplatio …観想する

天におられるあなたの父としての神について、よく思いめぐらしてみましょう。神の愛と保護そしてイザヤ 49 章 15 節の中で人々に示された次の素晴らしい約束を思い出してみましょう。

「わたしがあなたを忘れることは決してない。」